

和地ひとみレポート No.209

台風9号上陸で東大和市も多くの被害が 市長が西武鉄道株式会社にも多摩湖線の早期復旧を要請

■東大和市内の被害状況は

…8月22日(月)に関東に上陸した台風第9号は、各地に様々な被害をもたらしました。東大和市でも大雨による土砂災害発生危険があるとし、急傾斜地崩壊危険箇所該当する以下の地域に対し、午後1時20分に、避難準備情報を発令。午後1時30分には奈良橋市民センター、新堀地区会館、狭山公民館、中央公民館、南街市民センター、蔵敷公民館に避難所が開設されました。

【避難準備情報が発令された地域】

・芋窪1丁目、2丁目 ・湖畔3丁目 ・奈良橋2丁目
・多摩湖4丁目 ・狭山2丁目、3丁目 ・蔵敷1丁目

…その後、午後6時30分には避難準備情報は解除され、避難所への避難者数は0人で、大事には至りませんでした。東大和市で避難準備情報を発令することは、非常に稀なこと。市からの情報提供によると、今回の台風9号による市内の被害状況は『床上浸水5件』『床下浸水19件』『道路冠水24件』『倒木2件』『土砂災害1件』とのことでした。空堀川の氾濫はぎりぎりのところで免れましたが、奈良橋川の一部は氾濫し、橋が通行止めになるという事態も発生しました。

…今回の台風で被害にあわれた皆さまにお見舞いを申し上げますとともに、近年の気象状況の変化に対応した災害対策を東大和市でも早急に見直す必要があると痛感しました。

■道路の冠水に対する対策は

…今回の台風による道路の冠水は24件とのことですが、台風だけではなく、最近のゲリラ豪雨のような短時間に集中的に降る豪雨の際にも市内には冠水する道路が多くみられます。近年の集中豪雨により、東京都も豪雨対策の目標値を見直し。以前は時間50ミリに対する対策でしたが、現在は区部では時間75ミリ、多摩部では時間65ミリという数値に変更しています。東京都は時間50ミリまでは河川改修等により雨水を排除し、プラス分については流域で貯留や浸透を行い、総合的な治水対策によって浸水被害を防いでいく必要があるという考えのもと、大規模な貯留浸透施設の工事を実施しているとのこと。東大和市においても、担当部署は都と同じように対策を考える時期に来ていると認識しているようですが、体制を整えることと共に、総合治水対策をどのように公共下水の排除の量に反映させていくかというような研究課題がある状況とのこと。

…東大和市は昭和59年度から雨水浸透施設を設置しており、平成13年度までに14基を設置。

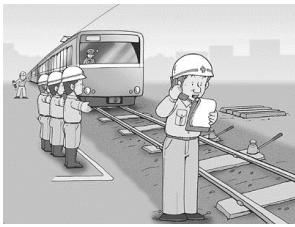


その後、平成20年8月の大雨を受け、翌年平成21年度からは8基を計画的に設置しており、それらにかけた整備費用は合計で1億2,051万円とのこと。しかし、近年の降水量の変化とともに、都市化が進んでいることも受け、雨水が雨水管に流れ込む量も予想以上に増加している状況で道路の冠水が増えているようです。東大和市は汚水排水と雨水の排水を別々に行うという分流式の方式をとっており、汚水排水の下水道整備は99.9%まで達している一方、雨水配水の公共下水道の計画には着手していない状況です。新たな雨水管の整備を求める声が多くあがっている中、総合的な治水対策を進める上では大規模な宅地開発や区画整理等のようなときに、貯留施設を設置し、将来の公共下水の雨水の計画にも対応する管によって整備していくしかない状況。そして、それ以外のところでは古くから入れた管に頼る、または道路に降る雨水を排除する目的で入れられている暫定管に頼らざるを得ない現状に対し、市も何らかの対策をしなければいけないという認識を持っています。これらの雨水対策については、予算化も含め今後の被害を最小限に抑える対策に早期に着手すべきだと思います。

■西武多摩湖線の復旧は

…また、今回の台風では通勤、通学で多くの市民の方が利用している『西武線 多摩湖線』の法面(のりめん=切土や盛土により作られる人工的な斜面)が崩落したことにより、不通となりました。現在、復旧作業を行っているとのことですが、運転再開までには1か月程度かかるとの発表もされました。

…そんな中、8月25日尾崎市長は西武鉄道株式会社の本社を訪れ、様々な要請を行ってきたとのこと。その際に、国分寺駅と武蔵大和駅間での折り返し運転の可能性についても確認。西武鉄道からの説明では、電気区は各駅ごとではなく、いくつかの駅で一区間としているため、電気設備の関係上、難しいとのこと。折り返し運転をするための電気設備を整えることの方が復旧作業より時間も費用もかかるとのこと。 (裏面に続く)



…復旧については西武鉄道も1日も早くしたいと対応しているとのことですが、現場の地形上の問題で通常より作業が大変なこと、また、天候、具体的には次の台風の影響なども考慮しなければならず、復旧までの見込みを1か月としたようです。武蔵大和駅は小学生も含む多くの学生が通学で利用しています。通勤等で利用している大人も不便な思いをしていることには変わりませんが、いつもと違うルートでの通学を余儀なくされている子どもたちのためにも、早期復旧とともに、今後の災害対策も含め、西武鉄道には点検、確認、そして対策を推し進めてほしいと思います。

■今後に向けて

…先にも述べたように、近年の気象現象の変化は、市の課題にも大きな影響を及ぼしています。また、気象現象だけではなく、人口の減少、少子高齢化、働き方の変化など、市行政を取り巻く環境は大きく変化し、以前の「当たり前」や「常識」を基にしたやり方では通用しない時代になったと痛感します。その変化とともに市は取り組むべきことの優先順位も状況に合わせて変化させなければなりません。この秋から、市は来年度の予算編成をスタートします。長年の慣例によって予算化されている事業はないか、新鮮な視点で再度見直し、長期的な視野のもと防災対策を含め、現状に即した優先順位で市は予算を編成すべきだと、改めて感じました。

【尾崎市長から西武鉄道に提出した要請書の内容】

日頃より、東大和市内の円滑な鉄道輸送及び市政運営に対しまして、多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、平成28年8月22日の台風9号の影響により発生しました西武鉄道多摩湖線(武蔵大和駅~西武遊園地駅間)の法面崩落によりまして、貴社の鉄道輸送に甚大な被害が発生いたしましたことを衷心よりお見舞い申し上げます。現在、懸命な復旧作業に注力されていることと存じますが、運転再開までは、1箇月程度かかる可能性があると発表をされており、西武鉄道多摩湖線を利用しております市民からも不安の声が当市に届いているところであります。つきましては、西武鉄道多摩湖線の沿線自治体の市長といたしまして、下記のとおり要請をさせていただきますので、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 鉄道利用者の不便を早期に解消するため、一日も早い西武鉄道多摩湖線の運転再開をお願いします。
- 2 西武鉄道多摩湖線の運転再開までは、運休区間の代行輸送手段などを充実させ、できる限り鉄道利用者の利便性の確保を図るようお願いします。
- 3 西武鉄道多摩湖線の運休区間の影響を最小限にとどめるため、武蔵大和駅での折返し運転の検討をお願いします。
- 4 豪雨の影響などで、同様の法面崩落の可能性が考えられることから、再発防止策の徹底を図るようお願いします。また、今後の豪雨等に備え、鉄道沿線の急斜面地等の安全対策の徹底、線路の冠水対策の実施等をお願いします。
- 5 運転再開の見通し及び代行輸送手段、「西武鉄道お客様センター」などによります情報を鉄道利用者に分かりやすく周知するなど、貴社の対応については、鉄道利用者の立場に立った速やかな情報提供をお願いします。

東大和市の“中学生によるいじめ防止への取り組み”をテレビ東京が1年間取材

今年も小学生も加わった“いじめ防止のためのシンポジウム”

…8月27日、中央公民館のホールで『第5回いじめ防止のためのシンポジウム』が開催されました。今年も中学校と小学校との連携、協力がテーマ。小学生の児童や保護者、地域の人たち約230名もの方が参加した充実したシンポジウムになりました。会では中学各校の取り組みの発表をもとに、課題、改善策などについて参加者が助言。また、今回から小学校とともに進める取り組みについての案なども発表され、子どもたち自身によるいじめ防止のための活動の進化を感じました。さらに、今回はテレビ東京の“すけっち”という番組で、この取り組みが取り上げられた様子も発表されました。その番組内では、中学生が地域の人たちにもいじめ防止への協力を呼び掛けている活動が紹介されており、中心となって取り組んでいる生徒会の生徒たちの大きな励みになったように思います。各中学校の取り組みはそれぞれですが、主な課題はやはりLINEなどのSNSを通じたいじめの防止、また「いじり」と「いじめ」の境界線が曖昧なことのよう。しかし、今回参加した小学生は、中学生の取り組みを知ったことで、中学への進学も安心だとのコメントも出ていました。会の最後にはディズニールランドでも演奏を披露した三中の吹奏楽部の演奏も披露され、参加者全員が一体感を感じながらの閉会となりました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102